

別 添

地域密着型金融推進計画の進捗状況
(17年度上半期)

株式会社 福岡銀行

目次

1. 全体的な進捗状況及びそれに対する評価 (p 2)

2. 項目毎の進捗状況及びそれに対する評価

① 事業再生・中小企業金融の円滑化 (p 2)

② 経営力の強化 (p 3)

③ 地域の利用者の利便性向上 (p 3)

3. 数値目標の進捗 (p 4)

4. 個別の取組みの進捗概要 (p 5)

1. 全体的な進捗状況及びそれに対する評価

当行は、地元福岡・九州を中心とした地域における事業再生・中小企業金融の円滑化、当行の経営力の強化及び地域の利用者の利便性向上に向け、平成17年8月に「地域密着型金融推進計画」を策定し、現在、各施策に積極的に取り組んでいる。平成17年上半期においても、上半期の取組として計画したすべての項目について計画どおり順調に進捗しており、着実に成果をあげている。

今後も引き続き、中小企業等地元顧客への円滑な資金供給等最適な金融サービスの提供に努め、地域金融機関としての役割を十分に発揮する。

加えて、当行自身の健全性確保及び収益性向上の同時実現に向けた施策を展開し、地域の顧客とのリレーションシップをさらに強化して、当行の地域密着型金融の機能強化を図っていく。

2. 項目毎の進捗状況及びそれに対する評価

(1) 事業再生・中小企業金融の円滑化

大口再生案件の処理がほぼ完了したことから、経営改善支援及び格付の下方遷移の防止に事業再生の軸足を移し、それらの実現に向けて積極的に取り組んできた。17年度上半期は子会社サービサーと連携して179先の経営改善支援に取り組む、20先のランクアップを実現している。また、取引先2社について、外部コンサルタントと連携し、経営改善のためのアドバイスを行った。さらに、参加企業11社による株式公開支援セミナーの実施や取引先における経営上の課題解決セミナーの開催(9回、のべ参加人数427人)など取引先の支援を行った。

中小企業金融の円滑化については、商工中金と連携し、我が国初の動産登記制度を活用したシンジケートローン型アセットベーストレンディング(債権・動産担保融資)の取組や財務制限条項を活用した融資、手形債権流動化スキームの活用等、担保・保証に過度に依存しない新しい融資商品を積極的に構築し、着実な実績をあげた。また、多様な取引先ニーズに対応するため、ビジネスマッチング提携先を新規で10先拡充する等、積極的な取組により一定の成果をあげた。

また、目利き、経営支援・相談等の行内研修会を実施し、融資渉外担当者を中心に120名が受講し、地銀協等への外部研修へも11名派遣するなど、取引先企業と真のリレーションシップを実践できる人材の育成に注力した。

今後については、債権流動化・無担保・動産債権担保等の融資商品拡大やビジネスマッチング提携先の拡充等、更なる円滑な金融サービスの提供に注力していく。

(2) 経営力の強化

質の高い金融サービスの提供と当行自身の健全性・収益力の強化の同時実現を目指して、バーゼルⅢに向けた対応や収益管理システムの開発を進め、試行段階に到達している。

リスク管理態勢については、バーゼルⅢ導入への対応として、信用リスク・オペリスク共に所管部を中心に取組を進める一方、内部格付制度の整備を行った。

また、行内プロジェクトチームとシステムベンダーで協議しながら新収益管理システムの開発に着手し、収益管理態勢の更なる高度化に向けて、計画どおり進捗している。

さらに、ガバナンス強化の観点から、財務内容の適正性確認に係る態勢整備に向けて、企業会計審議会の「財務報告に係る内部統制（日本版 SOX）」及び「内閣府令確認書」添付への対応に向けた態勢整備の検討に着手した。

加えて、法令等遵守態勢の強化については経営の最重要課題として取り組んでいるが、複数の不祥事件や顧客情報紛失等の事故が発生していることから、17年8月に情報管理強化月間を設定し、情報管理勉強会を実施するなど、より一層の整備・強化に努めている。

今後については、バーゼルⅢ及び財務内容の適正性確認などの新たなルール導入に向けた態勢整備・充実を図っていく一方、不祥事件や顧客情報紛失等の事故再発防止に向けた態勢の充実・強化をより一層図っていく。

(3) 地域の利用者の利便性向上

経営の透明性を確保することが、「利用者の信認を高める」という意識のもと、ホームページの更改の準備を進め、ディスクロージャー誌においてグラフや表を多く取り入れる等、顧客視線に立った分かりやすい情報開示に努めた。

また、6月から各営業店が独自に決めた待遇等に関する公約をポスターにより顧客向けに宣言し掲示した。加えて、この公約についての評価と要望等、提案いただくアンケート様書を店頭に設置、顧客の意見・要望を積極的に取り入れるなど、顧客満足度の向上を図った。

さらに、九州大学馬出総合研究棟改修施設整備事業へのレンダー兼エージェントとして参画したことで、PFI事業に関するノウハウの蓄積を図り、地元九州圏内の地域活性化及び地域再生に貢献するべく注力した。

今後については、より顧客視線に立った情報開示や顧客満足度向上を図っていく一方、外部とのアライアンスによるPFIへの参画を継続していき、地元九州圏内の地域活性化及び地域再生に貢献していく。

3.数値目標の進捗

地域密着型金融推進計画で掲げた数値目標については、各項目ともに計画通り順調に推移した。

数値目標設定項目	目標値	実績 (17年9月末)	進捗状況
不良債権比率	3%未満 (平成19年3月末)	3.03%	目標比 0.03%
経営改善支援先数	300先以上 (平成17年～18年度累計)	179先	達成率 59.7%
うちランクアップ先	50先以上 (平成17年～18年度累計)	20先	達成率 40.0%
中小企業等貸出残高	36,000億円以上 (平成19年3月末)	35,595億円	目標比 405億円
無担保ビジネスローン等 新規実行額	500億円以上 (平成17年～18年度累計)	142億円	達成率 28.4%
新規お取引開拓先数	6,000先以上 (平成17年～18年度累計)	1,635件	達成率 27.3%

4. 個別の取組みの進捗概要

事業再生・中小企業金融の円滑化

大項目（小項目）	主な具体的取組策	スケジュール		17年4月～9月 進捗状況	備考 （評価・今後の課題）
		17年度	18年度		
1. 事業再生・中小企業金融の円滑化					
(1) 創業・新事業支援機能等の強化	<ul style="list-style-type: none"> ▶ スコアリングモデルの高度化 ▶ 営業店支援体制の強化 ▶ 外部機関との更なる連携 ▶ 創業・新事業等に対する新しいファイナンス手段の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ スコアリングモデルの高度化 ▶ リスクマネージャーの活用強化 ▶ 創業・新事業等への新しいファイナンス手段検討 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 動産・債権担保融資の取組み強化 ▶ 知財担保融資への取組み開始 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 我が国初の動産登記制度を活用したアセット・ストレージングに取組 ✓ 知財担保融資取組の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 計画どおりに進捗 ✓ スコアリングモデルの高度化や動産・債権担保融資等の商品開発継続
(2) 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ビジネスマッチング提携先拡充 ▶ グループ証券会社の活用 ▶ 情報提供手段の拡充 ▶ 外部機関等との連携強化 ▶ 経営改善支援体制の強化 ▶ サービス機能の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 提携証券会社への派遣 ▶ 外部機関との協業 ▶ サービス業務の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ グループ証券会社との連携によるコンサル業務の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 株式公開支援セミナー実施 ✓ 外部コンサルタントと連携し、取引先の経営課題解決セミナーを実施 ✓ ビジネスマッチング提携先の拡充 ✓ 子会社サービスと協業での経営改善支援に取組 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 計画どおりに進捗 ✓ ビジネスマッチング提携先拡充 ✓ 技術力評価サービスの導入 ✓ 市場誘導ビジネスの取組 ✓ 今後、正常先の業況悪化に対する早期発見態勢を強化
(3) 事業再生に向けた積極的な取組み	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ローンビュアの強化と再生手法の活用 ▶ 早期警戒態勢の確立 ▶ サービスの有効的活用 ▶ 業界団体への情報開示 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ローンビュア先への取組方針の提案と実施 ▶ ローンビュア選定先の定期的な見直し ▶ 定期的な情報開示 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ローンビュア先への取組方針の提案と実施 ▶ ローンビュア選定先の定期的な見直し ▶ 定期的な情報開示 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 外部専門家との協業でローンビュア先に経営改善アドバイスを実施 ✓ イグジティブファイナンス1件取組 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 計画どおりに進捗 ✓ 継続的なローンビュアの取組 ✓ 将来的な成長戦略につながる出口戦略の検討
(4) 担保・保証に過度に依存しない融資の推進等	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 中小企業に対する新しいファイナンス手段の構築 ▶ 動産・債権などを活用した融資商品の品揃え強化 ▶ 財務制限条項の活用強化 ▶ 保証制度改正への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 中小企業に対する新しいファイナンス手段検討 ▶ 無担保商品品揃え強化 ▶ 動産・債権担保の定型化商品の検討 ▶ 外部機関への人材派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 動産・債権担保融資の取組み強化 ▶ 中小企業に対する新しいファイナンス手段構築 ▶ 制度改正への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 手形債権流動化スキームを構築（取組実績2件） ✓ コパナツ付融資商品、ミドルリスク先向け無担保商品の投入 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 計画どおりに進捗 ✓ 債権流動化・無担保・動産債権担保等の融資商品拡大
(5) 顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 行内研修実施 ▶ 苦情・トラブル会議メカニズム-拡充 ▶ 苦情収集体制強化 ▶ 監査部モニタリング機能強化 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 行内研修実施 ▶ 会議メカニズム-の拡充 ▶ 苦情収集体制強化策の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 行内研修実施 ▶ 苦情収集体制強化策の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 顧客説明の徹底及び接客マナーに係る研修会実施 ✓ 関連会社からの苦情収集体制強化 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 計画どおりに進捗 ✓ 顧客の声を反映させるアンケートを実施 ✓ 苦情トラブル情報管理機能の強化、分析力向上
(6) 人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 外部研修派遣 ▶ 担当者研修会の深化 ▶ 行内トレーニング制度創設 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 外部研修派遣 ▶ 行内研修実施 ▶ トレーニング制度の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 外部研修派遣 ▶ 行内研修実施 ▶ トレーニング制度の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地銀協等外部研修派遣11名 ✓ 目利き、経営支援・相談に係る行内研修参加者120名 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 計画どおりに進捗 ✓ 研修派遣の継続実施 ✓ 研修内容の深化と受講者数増加への取組継続

4. 個別の取組みの進捗概要

経営力の強化

大項目（小項目）	主な具体的取組策	スケジュール		17年4月～9月 進捗状況	備考 (評価・今後の課題)
		17年度	18年度		
2. 経営力の強化					
(1) リスク管理態勢の充実（バゼル 導入への対応）	<ul style="list-style-type: none"> ▶バゼルにおける先進的な手法の採用 ・信用リスク：基礎的內部格付手法 ・オペリスク：粗利益配分手法 ▶資本配賦の高度化検討 	<ul style="list-style-type: none"> ▶内部格付制度の整備 ▶パラメータ推計手法の構築 ▶要件充足の体制整備 ▶資本配賦の高度化検討 	<ul style="list-style-type: none"> ▶予備計算届出 ▶内部統制整備 ▶内部格付手法・粗利益配分手法の承認申請 	<ul style="list-style-type: none"> ✓国、地公体、政府出資法人等にかかる内部格付制度整備 ✓資本配賦等の経営管理手法高度化の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ✓計画どおりに進捗 ✓今後は外部格付や外部機関評点とのマッチング等に基づく格付の構築を検討 ✓バゼル導入に向けたオペリスクに係る評価・分析及び規定類の整備
(2) 収益管理態勢の整備と収益力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ▶収益管理・ALMシステム再構築 ▶収益分析の高度化と施策への活用 ▶個別採算管理システム高度化 	<ul style="list-style-type: none"> ▶新システム開発着手 ▶システム開発 ▶データ検証 ▶新システム試行・稼働 	<ul style="list-style-type: none"> ▶収益分析の高度化と施策への活用 ▶個別採算管理システムの高度化 	<ul style="list-style-type: none"> ✓新収益管理システム開発着手 ✓データ検証実施 	<ul style="list-style-type: none"> ✓計画どおりに進捗 ✓今後は完成に向けてのデータ検証や新収益管理システムの試行を行い、活用に向けた準備
(3) ガバナンスの強化（財務内容適正性確認）	<ul style="list-style-type: none"> ▶財務報告に係る規程類の整備 ▶内部確認書用チェックリストの新設 ▶財務報告の適正性に係る内部統制の構築・整備 	<ul style="list-style-type: none"> ▶各所管部における業務フロー表・手順書等の策定 ▶内部確認書における確認方法等を定めたチェックリストの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ▶18年3月期以降の有価証券報告書・半期報告書への「証券取引法上の代表者確認書」添付 	<ul style="list-style-type: none"> ✓企業会計審議会の公開草案の検討着手 ✓「内閣府令確認書」添付に向けた態勢整備の検討着手 	<ul style="list-style-type: none"> ✓計画どおりに進捗 ✓「内閣府令確認書」添付のための社内態勢整備 ✓「財務報告に係る内部統制（日本版SOX）」法制化に向けた検討着手
(4) 法令等遵守（コンプライアンス）態勢の強化	<ul style="list-style-type: none"> ▶研修・指導の継続的実施 ▶内部監査の強化 ▶規程等の見直し ▶システム対応強化 	<ul style="list-style-type: none"> ▶事故防止監査の実施 ▶顧客情報持出しの管理強化 ▶システム対応強化策検討 	<ul style="list-style-type: none"> ▶規程類の改善 ▶内部監査項目の見直し ▶環境整備の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ✓内部監査項目の見直し ✓保険商品等販売時における管理態勢の強化 ✓顧客情報持出しの管理強化 	<ul style="list-style-type: none"> ✓計画どおりに進捗 ✓不祥事件・顧客情報紛失等の再発防止に向けて、より一層、態勢を充実・強化
(5) ITの戦略的活用	<ul style="list-style-type: none"> ▶デジタルチャネル商品の拡充 ▶ITを活用したリスク管理・収益管理高度化 ▶地域企業へのIT支援 ▶共同化によるシステム構築の継続的推進 	<ul style="list-style-type: none"> ▶コンビニATM拡大 ▶取引先IT化支援 ▶デジタルチャネル商品の拡充 ▶不正取引防止対策 ▶バゼル対応 	<ul style="list-style-type: none"> ▶新システム試行・稼働 ▶個別採算管理システムの高度化 	<ul style="list-style-type: none"> ✓17年7月よりコンビニATMサービス提携先拡大（142台増加） ✓取引先IT化におけるビジネスマッチング提携先を4社拡充 ✓取引先IT化支援実施（14社） 	<ul style="list-style-type: none"> ✓計画どおりに進捗 ✓カードロック・ICカード化・生体認証等の不正取引防止対策のシステム開発を継続 ✓インターネットWEB通帳化開発着手 ✓債権管理システム稼働準備

大項目（小項目）	主な具体的取組策	スケジュール		17年4月～9月 進捗状況	備考 （評価・今後の課題）
		17年度	18年度		
3. 地域の利用者の利便性向上					
（1）地域貢献等に関する情報開示	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 情報開示手段・内容の充実 ▶ ホームページの見直し（FAQ等の掲載） ▶ IR等の継続的实施 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 情報開示手段・内容の拡充の検討 ▶ ホームページの見直し ▶ IR等の継続的实施 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 情報開示手段・内容の拡充 ▶ IR等の継続的实施 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ より顧客視点を意識したディスプレイ誌の発行 ✓ 国内会社説明会を開催し、その模様をホームページ上で配信 ✓ 顧客ニーズにあわせたコンテンツ追加等のホームページ更改準備 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 計画どおりに進捗 ✓ 個人向け会社説明会実施準備 ✓ ディスクリージャー誌・ホームページ・IR等での情報開示強化
（3）地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 顧客満足度調査の定期実施 ▶ 外部モニタリングの定期実施 ▶ 苦情・トラブルの再発・未然防止策の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 顧客満足度調査の実施と分析・対応 ▶ 苦情・トラブルの再発・未然防止策の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 顧客満足度調査の実施と分析・対応 ▶ 苦情・トラブルの再発・未然防止策の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 営業店毎の接客等に関する公約を顧客向けに宣言 ✓ 顧客からの苦情・要望に対して、本部で横断的な対策会議を継続的に実施 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 計画どおりに進捗 ✓ 顧客満足度調査実施検討
（4）地域再生推進のための各種施策との連携等	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 個別案件への取組み検討 ▶ 当行アレンジ案件の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 個別案件の取組み検討 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 個別案件の取組み検討 ▶ 当行アレンジ案件の取組み検討 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ PFIネット流動化の仕組み作り（共同開発）に着手 ✓ 九州大学馬出総合研究棟改修整備事業ヘレンダ-兼エ-ジェ-ットとして参画 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 計画どおりに進捗 ✓ PFI担当としての役割を順調に蓄積 ✓ 外部とのアライアンスによるPFIへの参画継続